

アメリカ・プロ野球独立リーグの1つであるペコスリーグにてプレーしている坂間悠希選手が『アルパイン・カウボーイズ』に合流してから、これまでの体験をメッセージにしてくれました！！

・坂間悠希選手のメッセージ

『アメリカでプレーしたくて、日本の独立リーグの1つであるBCリーグを辞めて、現在アメリカでプレーできている事を幸せに思います。コロンビアから帰ってきてから4ヶ月間、チームが決まらずに辛く焦る時期を過ごしましたが、その時期を経験したからこそ本当に今は野球も楽しく、周りの人に感謝をしながら前よりもプレーできています。

野球の本場であるアメリカのユニフォームに袖を通し、アメリカの国歌を聞いた時は、うまく言えませんが胸が高鳴ると同時に身体の底からこみ上げてくるものがありました。

こちらに来て、質の良いボールから悪いボールにアジャストするのが大変でした。また、テキサスという土地柄から乾燥している気候にも適応するのに時間がかかりました。ボークの基準が日本とは違って戸惑った部分もありましたが、今はそういった不安要素も克服しつつあり、ベストに近いパフォーマンスがで

きています。アメリカ野球で衝撃を受けたのはバスでの移動距離と時間でした。

これだけはいまだに慣れずに移動後の腰痛は深刻な悩みです(笑)

最後に、レギュラーシーズンも残り 11 試合になってしまいましたが、プレーオフも控えているのでコロンビアに次いで 2 カ国目のチャンピオンチームの一員になって、また更に上のレベルを目指して頑張っていきたいと思いますので応援宜しくお願いします！！』

